1. 授業の概要(ねらい)

今、日本語を母語としない人たちは、学校・地域・社会のあらゆる場面でその存在感を増してきています。これらの人たちに対して、上から「教える」のではなく、「対等」な立場でどのような日本語学習の支援ができるのかを考えます。「日本語教育方法論I」の内容を踏まえ、様々なレベルやニーズや立場の学習者に対し、より具体的にどうやって日本語学習の支援のするのを実践を通して学ぶクラスです。はじめに、日本語学習者にとっての、「初級の文法」とは何かを理解し、留学生、子ども、外国人生活者など様々な立場の人に特に「文法」をどのように教えるかを考えます。その中で、各自のこれまでの日本語の使い方について、改めて振り返り、日本語を外国語として学んでいくとはどういうことかを実感できるようになります。

2. 授業の到達目標

この授業はディプロマポリシーの中で、特に「教育の実践的方法論に即して、学校やその他の多様な場で教育活動を実践できる」こと、および「社会人として必要なコミュニケーション能力を養い、職業人として必要な使命感や責任感を身に付けている」の二つの習得をめざすものです。そのために、具体的に以下の三つの目標を掲げます。

1 様々なニーズや立場の学習者に対し、地域・社会・学校においてどのようにアプローチし、日本語習得の支援を行うかを、特に文法の教え方に焦点を当てて考えることができる。

2 1を踏まえて、日本語学習者がどのように外国語としての日本語を学ぶのかを体感し、各自がこれまで身につけてきた日本語を再分析することができる。

3 留学生、子ども、外国人生活者など様々な立場の人々にどんな支援・教え方が適しているかを判断し、地域・社会・学校において具体的な支援の実践ができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

1 平常点(授業への参加、ワークシート、課題への取り組み): 50%

2 中間のまとめテスト、最終のまとめテスト: 50%

正当な理由なく5回以上欠席した学生には単位を与えられません

4. 教科書・参考文献

教科書

スリーエーネットワーク編 『みんなの日本語 初級I』 スリーエーネットワーク

5. 準備学修の内容

このクラスでは、教員による講義だけでなく、ペアやグループでの話し合いや個人での作業をしながら学んでいきます。自分とは異なる背景を持つ人と対話することは、新しい学びや気づきを与えてくれるだけでなく、教育者・社会人としてのコミュニケーション能力を習得するための良い機会です。その準備として、指定された教科書の章や参考文献を事前によく読んだ上で授業に参加しなければなりません。日本語教育の中で用いられている特に文法を取り扱うためのスキルについて実践し、教案・教材作りなどにも取り組みます。

6. その他履修上の注意事項

1 各自、真摯な態度で授業や課題にのぞみましょう。

2 遅刻、早退、欠席は避けましょう。

3 第14回目の授業はLMSで行われる予定です。

4 グループやペアでの作業には、相手を尊重しつつ積極的に参加しましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、グループ分け、「日本語教育方法論I」の振り返り 日本語教育方法論Iで学んだコースデザイン…外国語教授法についての基本的理解を再確認する。グループのメンバーについて知る。
- 【第2回】 日本語教育文法の概観・動詞のグループ分けについて基本的事項を理解し、日本語の事例について分析する
- 【第3回】 初級の日本語教育文法I 日本語初級レベルで扱われる様々な活用形について基本的事項を理解し、それぞれの事例について分析する
- 【第4回】 初級の日本語教育文法II 日本語教育における文法と会話の関係性について、基本的事項を理解し、事例について分析する
- 【第5回】 「みんなの日本語初級I」について基本的事項を理解し、本書の各章について概要を分析する
- 【第6回】 「みんなの日本語初級I」の における会話の役割扱われ方について基本的事項を理解し、本書の実例について分析する
- 【第7回】 第1～6回目の振り返り・中間のまとめテスト
- 【第8回】 地域型日本語教育について基本的事項を理解し、現状の課題について分析する
- 【第9回】 年少者向け日本語教育について基本的事項を理解し、現状の課題について分析する
- 【第10回】 年少者向け日本語教材について基本的事項を理解し、実際の指導で使える教材・指導案を作成する
- 【第11回】 文法の導入・基本練習について基本的事項を理解し、実際の指導法について実践する
- 【第12回】 文法を使った応用練習について基本的事項を理解し、実際の指導法について実践する
- 【第13回】 文法導入の実践について基本的事項を理解し、実際の指導法について実践する
- 【第14回】 第1回から13回で学んだ日本語教育文法の基礎と、対象者に適した日本語の支援のあり方についての理解を確認した上で、具体的な対象者に対する適切かつ具体的な支援を実践できるようになる(LMS)
- 【第15回】 まとめ・復習・最終のまとめテスト